

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲賑わうエントランス（模擬店コーナー）!!

笠懸地域文化祭が10月
25・26日（土・日）の2日
間、笠懸公民館と笠懸野文
化ホールPALを会場に開

催されました。両日あいに
くの雨模様でしたが、多く
の来場者で賑わいました。
文化ホールは、渡良瀬特

雨ニモマケズ 大盛況の文化祭



▲鉄道模型とジオラマ展示

別支援学校和太鼓部
と和太鼓白楽による
演奏からスタート。
2日間にわたり、舞
踊やフラダンス、吹
奏楽の演奏など、参
加団体が日頃の練習
の成果を披露し、観
客から大きな拍手が
送られていました。
公民館内では、各サー
クルの活動紹介や作品展示の
他、革製品や七宝焼の即売、
建造物群や鉄道ジオラマの
展示などが行われました。
事務室前では「戦後80年・
平和の願い」と題した企画
があり、来場者は平和への
思いを書き込こんでいまし
た。



▲大興奮!! ファルコンハンター

2階ロビーでは、ピンク
リボンブレスレット作りや
耳つぼ体験、カスタムボー
ルペン、キーホルダー制作
など、健康やモノづくりを
テーマにした体験ブースが
設けられ、家族連れに大人
気でした。

26日の野外では、初めて
となるファルコンハンター
（鷹匠）による実演があり、
鷹の一種・ハリスホークが
見事な技を披露しました。
その他、手話や切り絵、囲
碁・将棋、ドライフラワー
体験など、多彩な催しが並
び、公民館や地域で活動す
る多くのサークルや団体が
文化祭を盛り上げていまし
た。

※2ページの写真も

ご覧下さい。

文化祭写真展



圧巻の和太鼓演奏 !!



みどモス
(遊びにきたモス♪)



令和7年度
笠懸地域文化祭

練習の成果を披露



ちびっこに大人気ミニトレイン



即売会も好評

七宝焼きサークルエッセイ



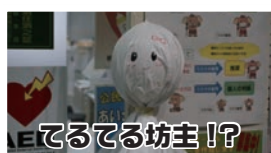
元気の秘訣を体験



展示コーナー



思いよとどけ !!



でてるでる坊主!?



切り絵って楽しいね!

来年もお楽しみに♪

考えよう 防犯対策



▲防犯の重要性を説く講師の黒津さん

高齢者大学第4講が10月21日(火)に笠懸野文化ホールで開催されました。演題は「防犯講座」で、講師は群馬県生活こども部消費生活課・消費者支援・防犯係の黒津はるかさんでした。

冒頭、群馬県内の治安情勢にふれました。電話などの特殊詐欺(オレオレ詐欺やSNS型投資詐欺)が増えています。被害者は20〜30代が約33%と最も多く、60〜70代の25%を上

回っています。令和6年度の被害総額は60件で約5億7400万円になるようです。

ロマンス詐欺の被害も増加傾向。電話による詐欺被害防止のため、電話機に特殊詐欺電話対策装置を設置、または防犯機能付き電話機に交換することを推奨。+から始まる電話番号、末尾の110番には要注意。不審な電話がかかってきた時は一息ついて、慌てずに相手の名前と所属先を聞いて電話を切り、最寄りの警察署に連絡してくださいと呼びかけていました。

スマホ対策ではSNSのメッセージを友だちからしか届かないように設定することを勧めていました。

後半は、住宅侵入窃盗対策です。令和6年度の住宅侵入窃盗は490件で令和5年度より20%増加。主として空き巣で窓・玄関・勝手口などのガラス破りが多く、泥棒の嫌がる4つの侵入対策を紹介しました。

①目(人の目)、②光(センサーライト等の灯り)、③

音(警報音)④時間(犯行に着手する目安5分)。これら4要素を組み合わせての防犯対策に効果があるそうです。

中でも、泥棒が一番嫌がるのが「人の目」です。防犯対策として地域住民による自主防犯活動に取り組むことが求められているようです。

テーマは防災 市民講座スタート

市民講座第1講が、10月16日(木)に笠懸公民館で開催されました。群馬大学共同教育学部の青山雅史さんを講師に「土地の履歴と自然災害を学ぼう」と題した講演でした。

自然災害のリスクが高い日本列島、繰り返し発生する自然災害、過去の災害を知る事も重要であると、講師は話していました。

みどり市内にある過去の自然災害を伝える碑が3カ所紹介されました。東町の「遭難者菩提の碑」、笠懸町阿左美の「風害供養」、

同町鹿の「感恩の碑」です。また、市内北部を中心に542カ所の土地警戒区域が存在します。みどり市のハザードマップ(洪水と土砂災害)で確認することができます。

どこにどのような災害リスクがあるのか、地域に残された災害の歴史を知り、将来に備えたいですね。



▲講師の青山さん

笠懸公民館主催教室事業 ～ホントは○○シリーズ番外編～

参加募集

**ホントは楽しい音楽
「ピアノ調律なるほど体験会」**

◇内容
調律を体験し、授業では教えてくれないピアノの原理を学びますが

◇期日 令和8年1月24日(土) 午前10時～午前11時30分

◇会場 笠懸公民館 1階 音楽室1

◇対象 市内在住・在学の中学生・高校生
※参加生徒1人につき保護者1人の同伴可

◇講師 調律師 竹澤 孝 さん
ピアニスト 伊舟城 歩生 さん

◇定員 10人 (要申込・先着順)

◇参加無料

申込みはコチラから

申込URL: <https://logoform.jp/f/EhERl>
申込期間: 2025年12月12日(金)～2026年1月16日(金)

楽しいな どんぐり拾い

笠懸公民館で10月4日(出)ベビークイズクラブのどんぐり拾いが行われました。

どんぐりを入れてマラカスを作るため、ペットボトル工作からスタート。いろいろな色のビニールテープをはさみで切って、思い思いに飾り付けました。

できあがったペットボトルを持ってお楽しみのどんぐり拾いへ出発！公民館裏の木の下で、夢中になってどんぐりを拾います。お友

だちの入れ物にどんぐりを入れてあげる優しい姿も見られ、とても素敵なマラカスが完成しました。

どんぐり拾いの後は「英語であそぼう」の時間です。先生の歌に合わせて一緒に歌ったり、体を動かしたり



▲どんぐりに夢中

深めよう絆 大掃除後に懇談会開催

第8回笠懸公民館利用者の会理事会在10月15日(水)に笠懸公民館で開催されました。

1週間後に迫った笠懸地域文化祭の参加に当たり各担当者を確認しました。

12月14日(日)に開催される利用者懇談会についても意

見交換。事前にアンケートを取り、各サークルの悩み事や課題を出しあい、解決策を話し合っていました。また、今回初めて、大掃除の後に利用者懇談会をすることになりました。



令和7年度 笠懸公民館 6月大掃除のアンケート結果(抜粋)

- Q. カーペット部分は掃除機があればよかった。
A. 掃除機は数が少ないので、ロビーに置いたものを順番に使っていただいています。
- Q. 男性が多いと、できるところがふえたのかもしれませんが。
A. できる範囲で大丈夫です。もし、男性や若い人の手助けがほしい、という時には役員に声をかけてください。
- Q. 草木の根元にタバコのゴミが多く捨てられていた。除草必要
A. 引き続きゴミ捨ての注意喚起をしていきます。除草は定期的に行っています。
- Q. ペランダのドアが開かなかったので外が掃除できなかった。スタッフさんから転落防止ではないかと指摘がありました。
A. ご指摘のとおり、安全対策のため出られない部屋もあるようですので、できる範囲でお願いします。
- Q. 壁やふすまの修繕
A. 緊急性の高いものから順番に修繕をしています。

して遊びました。初めての英語に戸惑う子もいましたが、最後はみんな楽しそうに歌っていました。

秋を感じられる良い思い出になったかな？



市民が主役の 卓球大会

第19回みどり市民卓球大会が10月13日(月)に桐生大学グリーンアリーナで開催されました。出場者は小学生から大人までの186人。

男子シングルスA決勝では、小学生と大人の対戦。女子シングルスAも上位2人は小学生です。

みどり市卓球協会主催のこの大会は、子どもから大人まで同じステージに立ち、熱き戦いが繰り広げられる市民交流の場となっています。

卓球教室が自然とでき、中学生を中心に和が広がりました。12月14日(日)にはみどり市オープン卓球大会(団体戦)が開催されます。「近郊の選手もたくさん参加してくれると嬉しいです」と役員が話していました。



▲即席の卓球教室開催

【大会結果】 ※敬称略

- ▼男子シングルスA
優勝 黒澤 佑右 (Mico)
準優勝 坂西 一真 (Jutoku Jr)
3位 小久保大翔 (桐生商業)
3位 小森谷拓真 (前橋商業)
- ▼男子シングルスB
優勝 福田 悠希 (笠懸南中)
準優勝 大谷 晋 (笠懸南中顧問)
3位 山上 煌輝 (大間々東中)
3位 宮永慎一郎 (大間々東中顧問)
- ▼女子シングルスA
優勝 黒田 晴菜 (マエタク)
準優勝 黒田 紗来 (マエタク)
3位 大澤 里桜 (前橋商業)
- ▼女子シングルスB
優勝 和田 采夏 (大間々中)
準優勝 書上樹里菜 (大間々東中)
3位 飯嶋 夏菜 (笠懸南中)
3位 平井 愛紗 (大間々東中)

岩宿の里で

脱穀体験

秋が深まる10月25日(出)、岩宿の里公園で「岩宿の里米っこクラブ」による脱穀体験が行われました。

子どもたちは昔ながらの道具(千歯こきや足踏み式脱穀機)を使い、稲から粉を外す作業に挑戦します。最初はぎこちなかった手

つきも次第に慣れ、手際よく脱穀を進める姿が見られました。

なかでも足踏み式脱穀機は人気で、順番を待ちながら楽しそうに挑戦していました。

風の力で粉殻を分ける「唐箕」の仕組みにも興味を示し、昔の人の知恵に感



▲脱穀にチャレンジ

防災を考える

59

自主防災組織

自主防災組織とは、地域の住民が自主的に防災活動を行う組織です。日常の活動として、防災知識の普及や啓発、防災訓練、防災安全点検、防災資機材の備蓄や点検などに取り組みます。

災害発生時は、初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救護、情報の収集・伝達、給食や給水活動などを展開します。

地域の特性を理解している住民で構成された組織だからこそ、実情に合った防災活動を行えます。みどり市では令和7年度に34団体、32の全ての行政区に自主防災組織が設置されました。

活動内容は各団体によって様々ですが、自分の住んでいる地域の自主防災組織の活動や訓練に参加してみたいかがでし



音色が結ぶ

和と世界

心していました。作業後は、ふれあい学習館で昼食。古代米のおにぎりと果物、温かい具だくさんの汁物を味わいながら、秋の実りに感謝しました。今年収穫したお米は、餅つきで使われる予定です。

みどりの音楽実行委員会(天野ゆかり代表)と童謡ふるさと館共催の『音楽と美の饗宴 秋の祭典』が10月12日(日)に童謡ふるさと館で開催されました。このイベントは「音楽を聴きながら着物を着てランウェイしよう」というものです。前半は桐生大学附属中学

校の箏部の皆さん、笠原道宏さんの篠笛演奏から始まりました。篠笛の会「蘭」の関根達行さんと金子ふみ子さんの演奏では、着物ランウェイに男女合わせて14人が参加しました。

前半の締めくくりでは、ゲストの永島紀子さんが日本舞踊「新舞踊 雄気の人 泣沢栄一」を舞いました。後半は「世界から見るアジア・ジャパン」がテーマ。ゲストのケーナ奏者ハイメ・グラマルさんが南米の曲を披露。とても軽快で会場で一気に明るく楽しい雰囲気になりました。

国際的なビューティーコンテストに出場した高野富田美さんは、その際に着用した衣装を披露。コンテストの映像と娘の喜美歌さんが作曲したピアノ演奏に合わせ、喜美歌さんとご主人のメッセージが流れました。



▲はいチーズ

がりました。篠笛の演奏に合わせ、全員でふるさとを歌い終演となりました。

参加者の飯沼清和さん(高崎市在住)は「和服を着る機会はなかなかないので、和服を着て参加させていたでいて良かったです」と言っていました。来場者からは楽しかったとの声が聞こえてきました。

代表の天野さんは「来年に向けて今から準備をし、他にないもっともっと楽しいイベントにしたい」と意気込んでいました。

自由に表現 パソコン写真展

笠懸公民館ふるさとギャラリーで10月15日(水)から21日(火)まで、パソコン愛好会・PCさくら・PCC西鹿田の3サークルによる「第17回パソコンで作る写真展」が開催されました。



▲出展者のみなさん

ひ孫との写真、旅行の景色、季節の花々の写真を額にレイアウトしたものや、シールにしたり、トートバッグにお気に入りの写真をプリントアウトしたものなど、さまざまな作品が目を楽しませていました。新しいことにチャレンジし、さらなるスキルアップを楽しみですね。

笠懸公民館 SNS 紹介

フォロー
してね

Instagram



@KASAKAKEKOUJINKAN

いいね
してね

YouTube



お手持ちのスマホでご覧ください!!



走る喜びを感じる 草木湖マラソン

第46回草木湖マラソン(みどり市・草木湖マラソン実行委員会主催)が10月19日(日)に開催され、参加者620人は紅葉にはまだ早い山道を駆け抜けました。ゲストランナーにはザスパ群馬の細貝萌社長とアンバサダー清水慶記さん、恒例のポリスランナーも走り会場を盛り上げていました。ランナーの中に77歳の女性もいて、きついコースを元気良く走っていました。参加者は「今年はレベルが高い」と話していました。

投稿

列車にゆられて(77)

JR 烏山線

野利 哲



▲烏山線 (小埜～滝間)

烏山線は東北本線の宝積寺駅が起点となりますが、車両の運用は宇都宮駅が発着となっています。宇都宮駅から宝積寺駅まで東北本線を走り、宝積寺駅から分岐して東へと向かいます。平坦な田園地帯を走り何の変哲もない路線です。駅は7駅あり全て無人駅です(駅というより停留場に近しい)交換設備のあるのは大宮のみです。宝積寺から烏山まで20・

4 kmを35〜40分で走り、仁井田駅からは山懐に入り民家がポツリポツリの車窓となります。そして、小埜駅からが素敵ですね。田舎という言葉がピッタリです。築堤を駆け上がりトンネルを抜けると滝駅です。この周辺は鉄道写真のビューポイントで、以前多くのカメラマンがいたのを見かけました。そして龍門の滝越に見る鉄道写真は映えるものですね。終点の烏山駅は無人駅で、ここに見慣れない設備がありました。烏山線の車両は蓄電池で走る電車です。EV-E301系直流」とい一般型直通用蓄電池駆動電車と呼び、愛称はACCUMです。停車時間の間に蓄電池に充電をし、次の走行に備えています。

烏山にはユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」や和紙が歴史の中に息づいていますね。そして、烏山城址も捨てがたいですよ、何度か攻略しています。

上毛かるたゆ

御朱印レディー

ゆかりは古し貫前神社

この札は、貫前神社の歴史の古さや「上野国一宮」として祀られた思いが、長く受け継がれていくことを願っています。

今から1500年前に創建され、神話に出てくる経津主神が機織りの神と共に祀られています。



▲貫前神社の御主印

現在の社殿は、1635（寛永12）年に徳川家光が建て、98（元禄11）年に徳川綱吉が大掛かりな修理をしました。

に国の指定重要文化財になりました。また、奉納されている鏡のうち3面も国の重要文化財に指定されています。

四季の会 十一月句会



湖面彩る鏡写しの蔦もみぢ
新嘗祭五穀豊穰地の恵み
すきま風婆の声する広き部屋
晩秋や猫の帰りを待ちわびる
炭の香や妣のぬくもり忘れぬ
足止める山の臭ひの茸かご
晩秋やもの悲しさが胸を刺す
柿どろぼう猿の親子の出没す
波荒く太平洋の秋探し
空見上げ終わりの見えぬ落ち葉かき
犬小屋に厚手の毛布敷く日和
秋耕や夫の手を借る一日かな
渡り鳥見上げる吾れと子ら四人
血圧の高めの患者冬の院
うす紅葉ゆらぐ山峡海の宿
遊歩道湖畔の落葉風に舞ふ
どんぐりの弾けてこぼる集会所
古き帯片付けながら秋の夜
溪流の釣り場に独り鹿の声
障子はる夫と住むには広すぎる
新米を研ぐ水量少し控えめに
紅葉鮎色とりどりに寺の池
青みかん酸っぱそうだが買ってみる
むかご飯母に供へる夕の膳
拍子木の音とぶ先の大熊手
身にしむや亡夫の夢を久に見る
リホームの屋根が仕上がり冬立ちぬ
つるし柿隣でもらふ五つ六つ
藪蘭のこぼれて方丈歩を止むる
玄関前せがれが洗ふ古障子
山里に残る柿の実取りさわぐ
ふる里の山を語って茸飯
師の句碑の台座にいろむ草紅葉

高橋光栄津 牛房 敏秋 江原 大樹 山本 草秋 江原 隆誠 泉 純佳 中村 祐月 霜中 隆鬼 中村 富喜女 江原 麗華 竹内 光春 宇野 椿 細川 由桂 櫻本 千春 細川 和勘 佐藤由美香 高野 春蝶 横倉 雅 糸井 梅光 高野 光詢 前原 紫蘭 宇野 順雪 梧沢 春蘭 糸井 初音 小林 狐一 徳田 夕子 新羅 光海 腰塚 昇勘 韓 百日紅 宇野 希子 小林 華笑 宇野 勘大 金 光月

コラム豆電球



『パイナップルで口の
中が痛くなるのは？』

パイナップルを食べ過ぎてしまった時、舌や口の中が痛くなることがある。不思議なのは、缶詰ではこの症状がでない。これはいったいなぜなのだろうか。

実は、生のパイナップルにはプロメリンという、とても強力なたんぱく質分解酵素が含まれている。

人間の体はタンパク質でできているので、舌や口の中の表面はプロメリンによって破壊され、口の中が痛いと感じるわけだ。

しかも、このプロメリンは熟せば熟すほど増加するので、甘いパイナップルを食べ過ぎたときほど舌や口の中が痛くなるようだ。

ただし、プロメリンは熱に弱く、60℃ほどで分解されてしまう。そのため、加熱殺菌されている缶詰では、口の中が痛くはならない。口の中では悪さをするプロ

メリンだが、捻挫や関節炎など、炎症の症状を改善したり、腫れや痛みを抑えたり、感染症を防ぐという働きがあるようだ。また、消化を助け、腸内の腐敗物を分解する作用もある。

タンパク質を分解する働きを利用して、お肉を調理前にパイナップルと一緒に漬け込めば、お肉が柔らかくなり、消化もよくなる。



かさかけ どうぶつ家族(22)

小太郎くん(7区)

10年前、小太郎(以下コタ)くんは生後すぐに捨てられていましたが、幸運にも優しいお父さんに引き取られました。

お家はお店を営んでいて、来客があると、愛想よく尻尾を振って接客するのが人懐っこいコタくんの仕事でした。お父さんは看板犬コタくんの仕事をいつも褒めてくれ、お父さんといっしょに働くことがコタくんの生き甲斐でした。

しかし、楽しい日々は急に終わりを迎えます。コタくんが5歳の時、大好きなお父さんが亡くなってしまったのです。

お店も閉店すると、コタくんは元気がなくなり、どんどん痩せていきます。

そんな姿を見かね、結婚して家を出ていた娘(ママ)さんが引き取ってくれました。パパさんも快く迎えてくれ、新しいお家で元気になったコタくんに新しい家族が増えます。

ママさんが長男(3歳)、次男(1歳)を出産すると、弟たちのお世話(?)がコタくんの新しい生き甲斐になります。とくに下の子は



▲コタくん

亡くなったお父さんにそっくりで、コタくんはいつも傍を離れません。犬生も山あり谷あり、コタくんは今とても幸せです。

笠懸短歌サークル

十月例会より

湯あみしつつ話題になるは新施設の湯銭の事やら通ふ道やら
雨の中傘さし唄ふ「ブギウギ」にひまはりうつむき涙で拍手か
坪ほどの地を占めて咲く彼岸花今を盛りと葉草も隠し
息子来て大の字になるひとときに今はあらざる実家を思ふ

上村 征子
久保田茂子
関口 定夫
平山 勇



あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でもOK ※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】

- ・編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
- ・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
- ・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

【応募方法】

飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を
電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。

☎ 0277 (76) 2211

✉ kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード

ちょっと一息



山登りの帰り、かねてから立ち寄りたいと思っていた長野県長和町の「黒耀石体験ミュージアム」に足を運んだ。標高1500m付近にある和



▲星くそ館(長野県長和町)

田峠は黒耀石の一大産地としてその名を誇っている。黒耀石とは火山岩の一つで、溶岩が急速に冷やされた天然のガラス質の鉱物。その採掘地がミュージアムから徒歩30分ほどの山の中腹にあった。採掘の様子が、「星くそ館」と名付けられた黒耀石鉱山展示室のプロジェクトクションマッピングで映像化されていた。「星くそ」とは縄文人が生きたために求め続けた「黒耀石」の別名というらしい。なお、縄文人が黒耀石を採掘したという窪地が山中には多数あり、登山とは違ったロマンを感じた。

(余)